

## 平成30年度「学校における男女共同参画研修」開催要項

### 1. 趣 旨

初等中等教育諸学校の学校現場に存在する男女共同参画課題を把握し、それらにどのように対応したらよいのかを実践的に学ぶとともに、教職員自身のキャリア形成や働き方改革及び女性管理職の育成について、男女共同参画の視点から捉えて理解を深めます。

### 2. 主 催

独立行政法人国立女性教育会館（NWE C）

### 3. 後 援（申請中）

文部科学省

独立行政法人教職員支援機構（N I T S）

### 4. 会 場

国立女性教育会館

埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

TEL: 0493-62-6724・6725

### 5. 期 日

平成30年11月29日（木）～11月30日（金） 1泊2日

### 6. 対 象 者

（1）教育委員会職員

（2）教職員研修センター等の職員

（3）初等中等教育諸学校の管理職・教職員

### 7. 定 員 30名

### 8. 日 程

11/29 (木)	12:30 13:00 13:15 14:15 14:25 15:05 17:30 18:30 20:00									
		受付	開 会	講義	休 憩	情報 提供	講義・事例報告 ディスカッション	チェック イン	情報 交換会	
11/30 (金)	9:00 9:35 12:00 13:30 14:50 16:30 16:45									
	移 動	授業参観・解説・ グループワーク	昼食	事例報告	グループディスカッション 全体の振り返り	閉 会				

## 9. 内 容

第1日 11月29日(木)

### (1) 開会

13:00～13:15

主催者あいさつ：内海 房子 国立女性教育会館理事長

### (2) 講義「学校現場における男女共同参画課題とは―男女共同参画の視点を身に付ける―」

13:15～14:15

男女共同参画の推進は何故必要なのでしょうか。その基本理念を改めて整理するとともに、日本の男女共同参画がどのくらい進んでいるのかについて国内外のデータを用いて客観的に把握します。また、学校現場が直面する現代的課題を把握しつつ、教育における男女平等の重要性について解説します。

講 師：村松 泰子 公益財団法人日本女性学習財団理事長  
東京学芸大学前学長・名誉教授

### (3) 情報提供「教職員の働き方改革」

14:25～14:55

現在、教員の長時間労働は学校現場の大きな課題となっており、この解決に向けた方策について検討が進められています。文部科学省の最新の動向について説明を受け、今後の方向性について理解を深めます。

講 師：弓岡 美菜 文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課専門官  
(併) 教育公務員係長

### (4) 講義・事例報告・ディスカッション「女性教員の活躍推進と男女共同参画の職場づくりに ついて考える」

【第1部】講義・事例報告 15:05～16:15

【第2部】ディスカッション 16:25～17:30

小学校・中学校・高等学校のいずれにおいても、教職員全体に占める女性の割合に比べて管理職に占める女性の割合は低い現状にあります。この問題の背景や要因について、国立女性教育会館が全国3,000校の公立小中学校教員を対象として平成29年度に実施した調査の結果を報告するとともに、女性活躍推進に向けた教育委員会の取組事例を紹介します。ディスカッションでは、教職員に根強く残る無意識の偏見、教職員自身の働き方などについて意見や情報を共有しつつ、女性管理職育成や業務改善を含む組織マネジメントについて考え、改善・充実の方向性を探ります。

講 師：飯島 絵理 国立女性教育会館研究国際室研究員

報告者：大坪一才恵 岐阜県教育委員会事務局教職員課女性教職員活躍推進監

ファシリテーター：上田 芳子 国立女性教育会館事業課専門職員

◇チェックイン

17:30～18:30

(5) 情報交換会

18:30～20:00

立食形式で夕食をとりながら情報交換と参加者同士のネットワークづくりを行います。  
途中、意見交換のきっかけづくりとして、母親や父親が抱える問題や、これからの時代の  
キャリア形成の在り方など、NWE Cで実施する様々な研修から見えてきた、子供たちを  
とりまく男女共同参画課題についての情報提供を行います。

情報提供：小笠原泰代 国立女性教育会館事業課専門職員

第2日 11月30日(金)

《会場を嵐山町立菅谷小学校に移動》(9:00)

(6) 授業参観・解説「みんな違ってみんないい～Iメッセージ～」

【第1部】授業参観

9:35～10:20

【第2部】解説・グループワーク 10:40～12:00

人権感覚を身につけるためには、「多様性」を恐れないことと、「自分と異なるものを受け入れていく」姿勢が重要です。ここでは、教室に移動し、実際の児童を対象に、アクティブラーニングの手法を用いた多様性を認め合えるワーク（体験学習）の授業を参観します。

また、参観後の解説では、この授業が目的とするダイバーシティ（多様性）意識醸成の大切さについて学ぶとともに、教職員自身にある無意識の偏見を探り、性別にとらわれない児童生徒一人一人がもつ個性や能力に応じた指導の在り方と、男女共同参画の基礎となる多様性のある社会と人権の尊重について考えます。

講 師：高崎 恵 オフィスピュア 男女共同参画政策アドバイザー  
ワークショップデザイナー

《NWE Cへ移動》

◇昼食

12:15～13:30

(7) 事例報告「性の多様性に対応するか」

13:30～14:40

性同一性障害や性的指向・性自認に係るいわゆる「性的マイノリティ」とされる児童生徒に対しては、教職員の適切な理解の促進と、その心情等に十分配慮したきめ細かな対応が必要です。

先進的な事例として、千葉県柏市が進めている市内全職員を対象に実施したLGBT研修の内容や“ジェンダーレス制服”導入の過程と取組について情報共有します。

報告者：中光 理恵 千葉県柏市立西原小学校教頭

宮武 孝之 千葉県柏市立酒井根中学校校長

(8) グループディスカッション・全体の振り返り 14:50～16:30

二日間で学んだ内容について振り返り、自身の考えや意識の変容、見えてきた課題などについて共有します。また、課題対応のあり方について協議し、明日からの実践的取組について具体的に考えます。

ファシリテーター：丹羽 麻子 国立女性教育会館事業課専門職員

(9) 閉会・アンケート記入 16:30～16:45

10. 所要経費（金額はすべて消費税込み）

- |            |   |
|------------|---|
| (1) 研修参加費  | 無料  |
| (2) 宿泊費    | 研修期間中は1泊1人あたり1,200円（前後泊も同様）                         |
| (3) 情報交換会費 | 3,500円【希望者のみ】                                       |
| (4) 食費     | 朝食バイキング870円<br>昼食カフェテリア形式550円～800円<br>夕食バイキング1,080円 |

11. 申込方法

- |            |  |
|------------|--|
| (1) 方法     | 別紙「参加申込書に必要事項を記入し、以下のメールアドレスに送信ください（参加申込書はHPよりダウンロードできます）。<br>メールアドレス：progdiv@nwec.jp  |
| (2) 申込期限   | 平成30年11月22日（木）17時  |
| (3) 参加決定通知 | 参加申込書記載の連絡先に電子メールまたは文書にて発送します。11月26日（月）までに連絡がない場合には、お手数ですが事業課（Tel：0493-62-6724・6725もしくはメール： <a href="mailto:progdiv@nwec.jp">progdiv@nwec.jp</a> ）にお問い合わせください。 |

12. その他

期間中、職員が撮影した写真を、事業記録や広報のために使用することがあります。  
あらかじめ御了承ください。